

復 命 書

令和8年2月24日

長浜市議会

議会事務局 担当者様

日本共産党長浜市議団

議員 高山 亨

令和8年2月18日に実施されました自治体問題研究所の『第82回市町村議会議員研修／地方財政を中心とした2026年度政府予算案の特徴について』に参加し、その概要は下記の通りでありましたので、復命します。

記

- 1 期 間 令和8年2月18日（水）の1日間（※ただし別の日視聴）
- 2 用務先 オンライン受講により高山事務所にて
- 3 用 務 『第82回市町村議会議員研修／地方財政を中心とした2026年度政府予算案の特徴について』への参加研修
- 4 概 要 <18日：水> 13：30～15：45（2時間15分）
※ただし当日公務のため、2月20日（金）視聴
○講義
講師 森 裕之 氏（立命館大学教授）

5 研修成果（講義趣旨とまとめ）

<議会の役割と地方財政>

◆議会の役割は、1)予算の決定、

2)価値の発展（大切なもの＝基本的人権、平和、環境、健康、文化、福祉、人と人とのつながり等について、地域社会の発展のあり方を話し合っ

*税金を使って、市民の暮らしを支える予算を決めている～その自覚と責任を持ってほしい。

そして、その時点で決めたことは、未来にわたって続いていくことも忘れないでほしい。

*わが町にとって、大切なものは何か、時代により、地域により、人により違うが、それを話し合っ

◆自治体財政のルールは、赤字にしないこと！

・財政の知識を活用して、それぞれの立場から財政をどこへ支出するかを決める選択をするのが議会での取り組み。

・自治体財政は、家計と同じである。→だから、収入を確認し、その範囲内でどのように支出するかを決める。→赤字ローンを組むことはダメ。※その年度で赤字になる場合は、貯金である基金を取り崩すことに。そのために、黒字の場合に、基金の積み立てが必要。

- ・したがって、自治体の黒字には2種類あり。1)単純に歳入-歳出=黒字。
2)歳出>歳入+基金で埋め合わせての黒字。

◆一般財源と特定財源を分けできるように。

- ・地方交付税は、地方税とセット…基準財政需要額に対して、地方税収（基準財政収入額）が不足している分を国が地方交付税として交付
- ・基準財政需要額は、ほぼ人口規模で決まる…面積の広い自治体は、財政的に厳しくなる
- ・税収の基本は、その3/4が、交付税との関係になるため、実際の増税収は、1/4だけ。
- ・地方交付税の算定に影響しないのが、超過課税、軽減課税、法定外税（法律に無い税の創設）

<2026年度（令和8年度）政府予算案の特徴>

◆昨年より地方財政対策としての予算が、5.4兆円増を見込む

- ・地方交付税+1.2兆円（地方一般財源総額で、+3.7兆円）
- ・物価高、官公需の価格転嫁への対応…5,850億円を増額

※普通交付税の単位費用措置を平均5%程度引き上げ

◆様々な特別交付税措置や地方債や特例債なども含め、地方財政措置のメニュー…それらを有効に使うことが必要。

○まとめ

自治体財政について、何度となく学んでいるはずですが、毎回、新鮮な感覚で、講義内容を受け止めています。勉強不足だったのか、忘れていたのか、いやそうではなく、重点を置くポイントが経験等を積み重ねていくことで、変化しているのではないかというのが、私の感想です。

上記、講演要旨を抜き書きしましたが、やはり、「税金を使って、市民の暮らしを支える予算を決めている～その自覚と責任を持ってほしい。」「その時点で決めたことは、未来にわたって続いていくことも忘れないでほしい。」ということや、「議会とは、わが町にとって、大切なものは何か、時代により、地域により、人により違うが、それを話し合っって優先順位を決めていくところ。」という言葉の重みを実感した次第です。

以上